

2021 年度 西南学院の決算概要について

西南学院をはじめ私学振興助成法により補助金の交付を受ける学校法人は、学校法人会計基準の定めに従い会計処理を行い、計算書類(決算書)を作成する必要があります。本学院の 2021 年度決算は、5 月 16 日に監事監査を終了し、5 月 30 日の定期理事会において承認されましたので、その概要についてご報告いたします。

(1) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該年度の「教育活動」「教育活動以外の経常的な活動」「その他の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すものです。

教育活動収入においては、2020 年度から開始された高等教育の修学支援制度では、経常費等補助金に 466,897 千円を受け入れて授業料減免を行いました。

教育活動支出では、新型コロナウイルス感染症対策が続いており、諸行事や出張の中止により予算残が発生し、教育活動支出は、予算比で 845,514 千円少なくなりました。

人件費は 7,425,831 千円であり、経常収入に対する割合は 57.5%と、全国平均(同系統法人平均) 52.7%より大きな割合を占めています。教育研究経費は前年度より 157,980 千円減少し、経常収入に対する割合は 27.5%で、全国平均(同系統法人平均) 33.6%より小さい割合となっています。

事業活動収入は、前年度より 23,933 千円増加しましたが、予算比では 50,668 千円少なくなっています。事業活動支出は、前年度より 127,374 千円減少し、予算比で 1,243,359 千円少なくなっています。この結果、基本金組入前当年度収支差額は予算より 1,192,691 千円改善され、1,267,477 千円となりました。事業活動収入に対する基本金組入前当年度収支差額の比率を示す事業活動収支差額比率は 9.8%です。

基本金については、第 1 号基本金では、大学院棟空調設備更新工事、図書館システムの更新、中学校・高等学校体育館剣道場空調設備工事、野球部雨天練習場整備、小学校教育システムサーバ、幼稚園防犯カメラ、保育所園庭改修工事に伴う施設設備の取得と、備品総合償却、東京オフィスの閉鎖や新体育館建築のための施設設備の除却、中学校・高等学校システムの除却等を部門別に相殺し、基本金の組入れ 25,715 千円と取崩し 74,638 千円を計上しています。新体育館建築のための資金は、第 2 号基本金から振替を行いました。第 2 号基本金の組入れは、西南会館、学術研究所、新講義棟建築のための 350,000 千円、第 3 号基本金の基本金組入れは、大学奨学金、中学校・高等学校奨学基金等の 200,901 千円です。

基本金組入後の当年度収支差額は、予算より 1,197,776 千円好転して 690,861 千円の収入超過となりました。当年度収支差額に前年度繰越収支差額、基本金取崩額を加えた翌年度繰越収支差額は 1,849,674 千円の支出超過となっています。

(2) 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容並びに支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにするための計算書です。

当年度の資金収入は 18,586,719 千円で、前年度繰越支払資金 9,168,320 千円を合わせた資金収入の部合計は 27,755,039 千円となりました。一方、当年度の資金支出は 19,771,497 千円です。

資金収入の部合計から当年度の資金支出を控除した翌年度繰越支払資金は、前年度より 1,184,778 千円減少して 7,983,542 千円となりました。

(3) 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における学校法人の財政状態を示しています。

当年度末の資産の部合計は 73,898,959 千円で前年度より 1,336,459 千円増加、負債の部合計は 6,143,660 千円で前年度より 68,983 千円増加しました。その結果、純資産の部は前年度より 1,267,477 千円増加して 67,755,298 千円となりました。

資産の部合計の内訳は、固定資産では、有形固定資産が 41,402,637 千円、各種引当資産である特定資産が 13,276,697 千円、有価証券等を含むその他の固定資産が 10,908,499 千円です。流動資産では、現金預金 7,983,542 千円を含めて 8,311,125 千円となっています。なお、2009 年度末以降、借入金はありません。